

市が主催するイベント・行事等の対応方針（新型コロナウイルス感染症）

(1) 令和4年3月22日から当面の間は、以下の開催制限を目安として、開催の可否を判断する。

感染防止安全計画を策定した場合  
収容定員まで可（上限なし）




上記以外の場合

- ・人数上限：5,000人もしくは収容率50%のいずれか大きい方
  - ・収容率50%以内（大声あり）、100%以内（大声なし）
- のいずれか小さい方

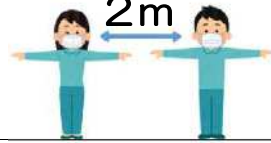

開催と判断した場合は、不織布マスクの着用、手指消毒及び室内での換気の徹底、参加者の把握、入場時の検温、密の回避など、基本的な感染対策をさらに強化し、開催方法の変更についても検討する。

なお、感染防止安全計画を策定したイベントは、静岡県へ感染防止安全計画及び結果報告書を提出する。上記以外の大規模イベントについては、チェックリストを作成し、ウェブサイト等で公表することで、参加者へ感染防止対策の実施を呼びかける。また、イベント終了後には、結果報告書を作成し、1年をめどに資料の保管をする。


(2) イベント・行事等を開催する際には、

項目	①「密閉」（換気の悪い密閉空間で開催するもの）  密閉回避	②「密集」（多数の人が密集する環境で開催するもの）  密集回避	③「密接」（間近で会話や発声したりするような環境で開催するもの）  密接回避
チェック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>









の「3つの密」について、主催者において徹底的に回避するものとする。たとえ「1密」であっても、これを避け「ゼロ密」を目指す。

項目	④人と人との間隔はできるだけ2mを目安とする。  2m	⑤マスク未着用で近接した距離の会話等を原則行わない。 
チェック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

についても、主催者において十分配慮するものとする。

項目	⑥人数上限・収容率要件の目安については、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室による事務連絡のうち、「基本的対処方針に基づく、イベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について」等を参照の上判断するものとする。 参照URL： <a href="https://corona.go.jp/news/">https://corona.go.jp/news/</a> 
----	---

(3) 適切な感染防止対策の例として、

	項目			
	①チラシや開催通知等で不織布マスクの着用や、風邪などの症状がある方の参加は控えるように促す。 	②開催前に、参加者へ厚生労働省提供アプリ（COA）アプリ等の活用を促す（参加者の連絡先等の把握を徹底）。 	③会場出入口へ手指消毒液を設置する。 	④手洗い場の案内表示をする。 
チェック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	⑤会場内に感染防止ポスターを掲示し、手洗い・咳エチケット等を周知する。 	⑥室内でのイベント・行事については、定期的な換気を行う。 	⑦参加時に体温の測定や症状の有無を確認し、具合の悪い方の参加を認めない。 	⑧開催前後における密の生ずる交流の自粛を促す。 
チェック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

などを参考に、イベント・行事ごと必要に応じた対策を講じるものとする。

(4) 本方針については、3月22日（火）以降に開催されるイベント・行事等に適用する。ただし、今後、新たな国の方針が示された場合や、本市及び近隣市における感染拡大の状況に応じて内容を適宜見直すものとする。

(5) 本方針については、所管課の関係団体等が実施するイベント・行事についても、主催者に対し確実に周知するものとする。